



# 3 trees News

## ● 幼稚園実習（3年次） 園児から沢山の気づきと学びをもらいました

12月22日（月）に森幼稚園で本校3年生が2つの実習を行いました。1つは「地理探究」という授業です。「町の防災」を探究テーマにした生徒達が、研究実践の一環で今回、園児に加え、併設する森小学校の1年生に防災絵本の読み聞かせを行いました。読み聞かせの間は、こども達は皆しっかり顔を上げ、真剣なまなざしで話を聞いてくれました。「津波の警報が来たら、素早く高い所に逃げる」という大切な行動についても理解してくれました。

もう1つは「保育基礎」という選択授業です。実習のために生徒が前もって考え、準備した遊びを一緒に楽しんだり、給食時のお手伝いなどを行いました。園児達は年少さん、年中さん、年長さん合わせ、どのクラスも反応が良く、高校生への質問にも元気に受け応えてくれました。また、お遊戯室では元気に走り回り、年齢が離れた園児と高校生がお互いに接点を見つけ笑顔で時間を共にする微笑ましい光景が見られました。

今回、生徒は園児とのふれあいや幼稚園の先生方が指導する姿を観察したり、話を聴く中で、お互いに「育ちあう」関係であること、また様々な取組を通し、課題対応能力や自己表現力など、大切な資質能力を向上させるとともに、教育の学びを深めることができました。素晴らしい機会をいただきました森幼稚園、ならびに森小学校の皆さまに感謝申し上げます。



<防災読み聞かせに参加して> 3年 竹嶋 流大

園児に絵本の読み聞かせをすると決まった時、すごく不安でした。「園児が怖がってしまったらどうしよう」、「当日失敗したら、どうしよう」といった思いがよぎりました。でも当日は園児たちがとても興味を持って聞いてくれたので、すごく安心した気持ちで教えることができました。

<実習に参加して> 3年 東 柊斗

実習を行い、子ども達の元気な姿や成長の速さに驚いた。一人一人に合わせた関わり大切さを学び、保育士の役割の重要性を実感した。学校で学んだことを確認したり試したりする貴重な体験だった。



防災絵本読み聞かせの様子



年齢が離れていても心が通い合えることを学びました



園児と一緒に「じゃんけん列車」



## ● もりの寺子屋

## 小学生と一緒に「わかる」喜びを味わいました！

12月25日（木）～26日（金）の2日間、森町公民館で行われた「冬休み もりの寺子屋」で本校1年生がボランティアスタッフとして参加しました。この企画は森町教育委員会の主催で小学生を対象に、家庭学習の習慣化や学力・集中力の向上を目的に毎年夏と冬に行われています。

当日は小学生が持参した、国語や算数などの宿題やドリルを本校生徒が「先生」となって、質問や要望に対して真剣に寄り添ってアドバイスしていました。高校生にとっては簡単な問題をいかに小学生の目線でわかりやすく理解してもらうかに奮闘していましたが、小学生がわかった時は一緒に喜びを分かち合っていました。また、時間を重ねるごとにお互いの気持ちが近くなり、休憩時には一緒におしゃべりしたり、遊んだりする和やかな光景も見られました。今回体験した「相手の立場での視点や考え方」はこれからの自分達の学びを広げていく中で貴重な経験値として生かされていくことと思います。



<参加した感想>

- ・教えることはすごく大変で、わかってもらうまで時間がかかった。でも、教えたことを活用して成長するところを見ると、教えてよかったと強く思った。先生という仕事の素晴らしさを感じた。（1年 小山 大輝）
- ・相手にわかりやすく教えるのに順番を考えながら説明するのが難しいと思った。最初はどやって説明すれば理解してもらえるかわからず、相手の反応を見ながら説明の仕方を変えたりすることで少しずつ教えられるようになった。教えることは苦手だった。（1年 加藤 晶博）



## 森高ステップアッププログラム 「いじめ」について全生徒で語り合う

12月19日(金)に「森高ステップアッププログラム いじめ根絶討論会」を行いました。

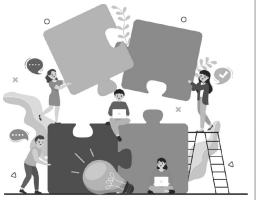
この企画は生徒一人一人が「いじめとは何かを正しく認識し、いじめにならないようにするためにはどうしたらいいか」をお互いに意見交換しながら解決方法を導き出す取組として、3年前から本校の特色の1つとして行われています。また、年次混合の小グループを作り、先輩後輩が輪になって、それぞれ意見交流する場を設けることで、多様な考えを理解し合い、視野を広げながら人間関係を構築する機会として生徒の人間力向上にもつながっています。

企画・運営も生徒主体で行われ、今回は10月に新メンバーとして活動を開始した1・2年生の生徒会執行部を中心に運営されました。最初に、アイスブレイクとして「絵しりとり」や制限時間内での高さを競った「ペーパータワーチャレンジ」等を行い、時間を重ねるごとに各グループからは歓声や笑顔があふれました。後半は「いじめが起きにくい学校にするためには、一人一人どうしたらいいか」というテーマで真剣な話し合いが行われ、各グループ全員が意見を出し合った後、リーダーからの発表が行われました。

プログラムの最後には生徒会の代表から「いじめ根絶宣言」がなされ、全員で内容を共有することができました。「認め合い、支え合える森高校」をこれからも継続していきます。

<生徒から出た意見 ~いじめが起きにくい学校にするためには、一人一人どうしたらいいか~※一部抜粋>

- ・笑顔でトーク
- ・心にゆとりをもって行動する
- ・暴言を吐かない
- ・相手が嫌な思いをしないか考えて発言する
- ・優しい心で何事も受け入れる
- ・自分の行動を見直す
- ・思っても傷つくことは言わない
- ・変なこだわりは捨てる
- ・傍観者にならず被害者を守る
- ・原因は自分にもあるかもしれないと考える
- ・困っている様子ならすぐに声をかける
- ・自分の気持ちを言える雰囲気をつくる
- ・距離感を守る
- ・一人一人価値観が違うことを理解する



各グループとも年次混合で行いました



ペーパータワーの様子



最後は全校生徒で記念写真

## 作文コンクール入賞 八雲税務署長賞受賞!

国税庁主催「税に関する高校生の作文コンクール」で1年生の内田 夕楽さんが見事「八雲税務署長賞」を受賞し、12月2日(火)に行われた森町公民館での表彰式に出席しました。「税の意義と役割について考えたこと」というテーマで書き上げた作品は高く評価され、当日も多くの出席者が見守る中、しっかりした面持ちで賞状を受けとっていました。



<入賞した感想 > 1年 内田 夕楽

税に関する作文を書くとなった時、今の税収が多い日本の問題点や税金と国民の苦渋関係を取り上げたいと思ったので、「税の在り方、国の在り方」というタイトルにしました。まさか自分がこのような素晴らしい賞を受賞できるとは思っていなかったため、最初は信じられませんでした。すごく嬉しかったです。

## 第2回学校運営協議会 更なる魅力化を目指して

12月1日(月)に本校で第2回学校運営協議会を行いました。今年度の学校の様子や、魅力化プロジェクトの進捗状況について学校側より報告させていただきました。

またその後の協議の中では、出席者から「広報活動の拡充にインスタを活用しては」や「地元からの入学者数を増やすためには小中学校との連携をさらに増やし、子ども達の印象に残る取組をしていくのが効果的では」といった貴重なご意見をいただきました。

委員の皆様からいただいたご助言を生かしながら、さらに「選ばれる学校」を目指してまいります。

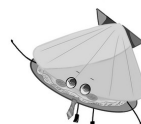


### <今後の主な行事>

- 1/28~30 後期期末考査(3年) 1/30 森町消防本部PR活動(3年)
- 2/2 家庭学習期間(3年~2/25) 2/10 推薦入学面接日
- 2/18~20 後期期末考査(1・2年)
- 2/27 卒業式予行 3年次生を送る会 同窓会入会式
- 3/1 第77回卒業証書授与式

森高 One up!

森高公式noteはこちらから



←森高キャラクター「はたてん」

